

織研教室

店舗同士の一体感で活気生む

ストリート商い

松本 大地

商い創造研究所代表取締役

世界共通であることの一 つは、人々はにぎわいのあ る「街なか」が好きなこと だ。魅力的な街というの は、街角のカフェや公園、 広場には人が集い、会話を 楽しみ、中心部がまるで居 心地の良い大きなリビング ルームのような役割を果た している。さらに表通りと 路地の関係性が良好につな がりつつ、昼と夜の表情の 違いの両方がバランスよく 備わった街は人々を歓喜さ

物語性あるイベントがカギ

今回のイベントでは並木通 りの顧客満足度の向上や新 たな活性化を主眼に40店舗 が参画し、各店様々な特典 を付加したイベントマップ 約6000通を招待状とし て顧客に送付した。 ショップでのミニコンサ ートの開催や、シャンパン やカクテルをふるまうおも てなしの他、一部の画廊で は版画作家の実技を見るこ とができるなど、普段は敷 居の高い店にも気楽に訪れ

ることができる内容だっ た。ある高級時計店では通 常18時以降は5人程度の来 店客数だが、ナイトクルー ズ当日は100人を超える など大きな効果をもたら し、周辺の飲食店はどこも 満席状態だった。 既存顧客の満足度もさる ことながら、新規顧客の獲 得や各店舗同士の一体感も 強まり、参加店からは毎年 1回ではなく年2回の開催 を希望する声があがった。 今回の成功要因は、単なる 一過性のイベントではなく 並木通り全体の街路コンセ プトを守りつつ、顧客にと

4月から11月の毎月第1 木曜日、米国オレゴン州ポ ートランドのパール・ディ ストリクト地区では、夜に 「ファースト・サズデイ ・ギャラリーウォーク」が 開催され、多い時は3万人 の来街者でにぎわう。鉄道 の換車場と貨物倉庫跡地を 開発し、多くのギャラリー やショップ、レストラン、 マンションなどが集まった

フリカ系やアジア系、ヨー ロッパ系などの移民が混じ り合う、ポートランドにお いては若干治安の悪いエリ アだったが、地元有志がア ートホッププロジェクトを 結成して壁画にアートを飾 ることで、ヒップホップ風 の飲食店や物販店舗が軒を 並べるようになった。街路 のにぎわいととも治安も 回復し、パール地区とは一 味違った文化的アイデンテ イティーが作られている。

交流する楽しさ

その土地、その場所にあ る歴史や培われたライフス タイルを下敷きに、人と人 が交流する楽しさをどう作 っているかで、ストリー ト商業の成否は分かれる。 どこのストリートも似たり 寄ったりの作りやテナント 構成、売れ筋偏重の品揃え が目立ち、その街らしさの アイデンティティーに欠け てはいないか。例えば、恵 比寿と渋谷と代官山では隣 接する街でありながら、そ れぞれの街のテイストは大 きく異なる。街のドラマを 作りだす街並み構成や個性 的な業態店舗、イベントが 望まれるだろう。

物語性のあるイベントで

楽しませてくれた並木ナ イ トクルーズからは、ストリ ートにも楽しい時間や体験 を叶えてくれる場所であっ て欲しいという、現代生活 者の気持ちがあ垣間見られ た。

確実な顧客満足

6月の第一金曜日、昨年 に引き続き銀座並木ナ イ トクルーズが催された。多 く のブランドショップや高級 飲食店、ギャラリーが連な る銀座西並木通り会商店会 (並木通り5〜8丁目)が 主催、若手を中心に結成さ れた並木ナイトクルーズ実 行委員会が運営を行った。



イベントマップを片手に並木通りを回遊する来街者